2011-2012 年度今治ロータリークラブ週報 No.15

第 15 回例会報告（10月20日）

【 出 席 報 告 】

・会員数　５４名　・出席数　２９名　・欠席数　２５名
・当日出席率　６１．３６％　・前々回修正出席率　８９．５８％
＜欠席会員＞青野(淳)、藤田、原、檜垣(直)、檜垣(巧)、飯、菅、冠、近藤、久米、桑森、松木、光藤、越智(務)、大澤、竹田、吉田
〔免除会員〕青野、原田、門田、松本、宮本、村上、高木、八木
<10/6 欠席補填>(10/3 今治北)青野(賢)、飯、板脇、尾越、越智(健)、渡辺　(10/4IAC)藤田　(10/8 地区大会)桑森、松木、西信、重松

◇**会長報告**・出席優秀者表彰　100% 25 回 檜垣圭之介会員、金森節生会員、19 回 渡邊道信会員、18 回 吉良敏彦会員、16 回 川上昭一会員、渡辺昜廣会員、15 回 尾越優会員おめでとうございました。
◇**親睦活動委員会･ゴルフ同好会**･10 月 16 日(日)開催、第３回今治ロータリークラブゴルフコンペ結果　優勝 平尾浩一郎会員、２位 光藤廣司会員、３位 川上昭一会員、ベスグロ 平尾浩一郎会員でした。

創立記念例会　森達男氏 『ロータリーの聖者･森光繁』

森達男氏は当クラブの大先輩であり、「ロータリーの本」の著者として有名な森光繁氏のご子息。中学教師を 33 年間され、多くの著作があります。

「ロータリーの聖者・森光繁」：この記載は、紋別港 RC の平野克昌氏による記述が最初だと思われます。森光繁氏の著書「ロータリーの本」の内容を紹介され、ロータリーの根本精神は奉仕の理想にありという、その内容を東洋倫理の立場から真に巧妙に解説した森光繁氏を賞賛したものです。

「ロータリーの本」：昭和 25 年に今治で地区協議会が開催されたとき、（当時は日本全体が一つの地区でした。）当時の手島ガバナーに当今治クラブの三藤香吉氏（内科医、今治 RC 創立委員長）が、「ロータリー精神をわかり易く日本語で書いた本がない。是非それを書いてほしい。」と要望しましたが、手島ガバナーは多忙のため断りました。すると、三藤氏は「わが今治クラブにはそれを編集する用意がある」と公言し、翌昭和 26 年、森光繁氏による「ロータリーの本」が出版されました。小堀憲助氏の評によれば、森氏が昭和 9 年から、自分自身に対しロータリーとは何かと問い続け、その報告の形で仕上げた本だそうです。

「三人の師」：森光繁氏の東洋倫理に基づいた禅的思考に影響を与えた方々です。①中村輝一氏：元西高校長、元蛍雪会会長として有名な中村一男氏のご尊父、今治中学の同級生、教師仲間。②照峰馨山氏：西光寺住職、禅を面白くわかりやすく説かれた僧侶。③宮崎安右衛門氏：宗教家、著作家、「大菩薩峠」の作者中里介山が「子供のようだから」と童安と名づけました。詳細は一昨年の「どんどび」１４号に掲載されています。

＜ゲスト＞　森達男様

次 回 例 会（10月27日）

【 米山記念奨学委員会アワー 】

＜会員誕生日祝＞　飯　忠悟氏（10/28）　楠本　金也氏（11/5）　村上　裕一氏（11/6）
＜配偶者誕生祝＞　吉武　誠治氏（10/29）　原田　政一氏（11/2）
＜結婚記念日祝＞　吉武　誠治氏（11/3）　渡邊　道信氏（11/4）　檜垣　賢二氏（11/4）
金森　節生氏（11/8）　西信　正男氏（11/9）

〔 俥屋 〕